

平成 31/令和元年度 岩手県立宮古工業高等学校学校経営計画

1 現状把握及び将来展望	(1) 学校に対するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・授業が分かる ・資格取得支援 ・進路希望の実現 ・生徒会活動及び部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・生き生きとした高校生活 ・進路希望の実現 ・安全安心な教育環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献活動や交流活動 ・地域を支える人材の育成 ・情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労観・職業観の育成 ・社会人基礎力や基礎学力の充実
	(2) パートナーとの関係	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力の向上 ・部活動の活性化と施設の整備 ・個別の指導計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・P T A活動の活性化 ・学校目標や課題の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献活動の拡充 ・開かれた学校づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業との連携強化 ・インターンシップの充実
	(3) 学校に影響を与える変化	<ul style="list-style-type: none"> ・宮古商業高校との学校統合 ・少子化等による生徒数の減少 ・東日本大震災津波による環境の変化 			
2 校訓・教育目標		<p>ア 楽しく学び、明るく活力のある、魅力に満ちた学校</p> <p>イ 「友愛」「協調」「責任」の精神を醸成する学校</p> <p>ウ 地域の復興に向け、地域と共に協力し、保護者と地域から信頼される学校</p>			
3 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標		達成指標(各種アンケート・調査)	
		ア 各家庭との連携強化と個に応じたきめ細かな指導の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・「先生は生徒の相談に親身になって応じている」保護者割合：90% ・「入学して良かった」生徒割合：85% 		
		イ 生徒の主体的な学習姿勢の確立と家庭学習の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業の内容がわかる」割合と学力調査正答率：昨年度+2% ・互見授業参加率：100% 		
		ウ 生徒会活動の活性化と豊かな人間性及び自己肯定感の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分に良い所がある」生徒割合 68% ・「生き生きとした高校生活を送っている」保護者割合：88% 		
		エ 全生徒の進路目標の実現と卒業後の定着率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・就職希望者及び進学志望者の決定率：100% ・インターンシップ参加率：100% 		
	オ 教職員の協働体制構築とコンプライアンスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「教職員の協働と融和で明るい職場の構築」教職員割合：65% ・「綱紀保持の推進」教職員割合：90% 			
	(2) 取組方針	<p>ア 保護者・地域に信頼される学校</p> <p>(ア)復興教育を推進し、奉仕活動等の地域貢献活動を拡充する。</p> <p>(イ)生徒の活動をホームページや校報、報道機関等を通じて広く発信する。</p> <p>(ウ)学校評価を踏まえて、組織的な学校運営の改善を図る。</p> <p>イ 基礎学力の向上</p> <p>(ア)授業力の向上に努め、生徒の実態に応じた「力がつく授業」を展開する。</p> <p>(イ)主体的に授業に臨む姿勢を育み、家庭学習の習慣化を推進する。</p> <p>(ウ)朝読書を有効に活用し、思考力や表現力の育成を図る。</p> <p>ウ 基本的生活習慣の確立と社会規範の醸成</p> <p>(ア)生徒会活動や部活動を通して、豊かな人間性や社会性を育成する。</p> <p>(イ)特別支援教育の充実を図り、不登校や退学の防止に努める。</p> <p>(ウ)全教職員が連携し、いじめ行為の早期発見と積極的な認知に努める。</p> <p>エ 進路意識の早期育成と進路実現</p> <p>(ア)進路指導計画に基づき、進路目標の早期設定と勤労観の育成を図る。</p> <p>(イ)資格取得への意欲を喚起し、主体的な学習習慣の定着を図る。</p> <p>(ウ)卒業生の就職定着率を把握しながら、進路指導の改善に努める。</p> <p>オ 明るい職場づくりと多忙化解消</p> <p>(ア)教職員の協働と融和を図り、多忙化解消に努める。</p> <p>(イ)分掌業務の効率化を図り、統合準備を円滑に推進する。</p> <p>(ウ)教職員の綱紀の保持に努め、不祥事の撲滅を図る。</p>			